受診日	診療科	ID番号	お名前
202　年　　月　　日	科		

がん免疫療法を受けている方への問診票

がん免疫療法は、今までの抗がん剤の副作用と異なります。

免疫反応による全身への影響が考えられ、早期発見が重要です。

治療日記を見ながら、**前回の来院から今日までの体調を振り返りましょう**。

今日の結果をお書きください。また、前回の来院時と比べていかがですか？

体重	kg	□変わりなし □増えた　□減った	
体温	℃	□変わりなし □上がった　□下がった	自宅での発熱 □あり　→（　　）□なし

★ 日常生活について、最もあてはまる状態を**１つ**選んでください。

□今まで通り、問題なく活動できている。
□激しい活動はできないが、軽作業や座っての作業は行うことができる。
□身の回りの事はすべて可能だが、作業はできない。
□限られた身の回りの事のみ可能。日中の50%以上ベッドか椅子で過ごす。
□まったく動けない。1日中ベッドか椅子で過ごす。

★ あてはまる症状を**全て**選んでください。

(下記の1~3の副作用は直ちに病院に連絡してください！)

1. 1型糖尿病

□のどが渇く　□水を多く飲む　□尿の量が増えた　□腹痛
□体がだるい　□悪心・嘔吐　□なし

2. 間質性肺炎

□息切れ　□息苦しさ　□痰のない乾いた咳（空咳）
□発熱　□なし

3. 大腸炎・重度の下痢

□下痢または軟便　□排便回数が増えた（　　回/日）
□便に血が混じる　□便が黒い　□便に粘液が混じる
□腹痛　□吐き気・嘔吐　□なし

裏面もあります

4. 甲状腺機能障害、副腎障害、下垂体異常

□体のだるさ　□疲れやすい　□体重の増加あるいは減少
□寒がりになった　□なし

5. 皮膚障害

□かゆみ　□皮疹　□全身の赤い斑点
□水ぶくれ　□ひどい口内炎　□粘膜のただれ
□まぶたや眼の充血　□発熱　□なし

6. 肝機能障害、肝炎、胆管炎

□皮膚や白目が黄色くなる　□いつもより疲れやすい
□なし

7. 特発性血小板減少性紫斑病

□鼻血が出る　□歯ぐきからの出血　□皮下の出血
□なし

8. 静脈血栓塞栓症

□下肢の腫れ　□むくみ　□下肢の痛み　□胸痛
□なし

9. 心筋障害

□動悸　□脈の乱れ　□胸痛
□なし

10. 重症筋無力症、筋炎、神経障害

□まぶたが重い　□ものが二重にみえる　□飲み込みにくい
□筋肉痛がある　□手足に力が入らない　□手足のしびれ
□なし

その他、症状や気になることがあれば、記入して下さい。

★記載後、この用紙は診察ファイルに入れて下さい。

医療スタッフ確認欄

医師確認欄

関西労災病院　（2018/3/20更新）